

Mランドニュース Vol. 82

丹波ささ山校 平成26年1月1日発行

発行 (株)篠山自動車教習所 〒669-2436 兵庫県篠山市池上569
TEL. 079-552-0815 FAX. 079-552-3940 発行責任者 井本 徹
<http://www.sasayama-ds.com/> E-mail info@sasayama-ds.com

《今月の言葉》

「自分の人生を急に良くしようとしても、よくなるものではありません。一つひとつよい習慣を身につける意外に方法がないのです。」 鍵山 秀三郎 氏

(株)タニサケ会長 松岡 浩 著
松岡 浩の人生道場(後編)より抜粋

年頭に想う



代表取締役 小河 二郎

新年を迎え、一寸大風呂敷になります。明治の思想家 中江兆民は、国民を「良民」「乱民」「勇民」「情民」に分類した。そうして秩序を乱す、旧武士階級を「乱民」とし、人にすがって生きる、「情民」同様困ったものと考えました。

然し、大事なことは、このことと自分の仕事に励む「良民」だけでは、社会の発展は不可能と説いていることです。社会の公共問題の解決に、進んで関心をもち、活発果敢な気性をもつ「勇民」が、不可欠だと云うのであります。おとなしく働き、税金をしっかりと納める「良民」だけでは、面白くもなんにも無い。例えば、参議院なんか、いらぬのではないですか。一院制で充分間に合います。議員も社会の進歩にすら、貢献しないのですから、議員の数も、県会議員、市会議員も半分で充分です。雑用議員ばかり増えています。世の中に雑用はありません。仕事を雑にするから、雑用になるだけです。

何よりも、ノーブレス・オブリージ(大人の尊厳なる義務)が大切です。議員は議員として、仕事をしっかりと、やって欲しいだけです。私達も自分の使命だけを、しっかりと見つめて「勇民」になってゆきませう。私達の目標は車の運転者を、つくることではありません。地域と地球のドライバーを、育てることです。善悪や正邪をこえて、人間存在はあります。公共的利益のために、個人の欲望を抑えこもうとする、この国の政治風土に対し、もっと私達は、声を上げるべきだと、痛切に思います。



胸に映えるZ旗バッジ

新年を迎え



専務取締役 井階 正義

新しい年を迎えられたことに感謝し、みな様に感謝をし、お礼申し上げます。あけましておめでとござい

は、よく考えて見れば、勇気がいることである。決して私達は「勇民」で「良民」であってはいけない。中江兆民の生きて来た時代からは、今の時代、そうしてこれからは、迎える時代は考えられないほどに、激動の時代です。折角だから、格好よくZ旗をつけて、覚悟を決め「良民」ではなく、「勇民」でゆこう！

みな様のお陰をもちまして、昨年地域創造企業としての活動を、進めてまいることが出来ました。人は、心と体を使って良いことをすれば、「みなが幸せになれる」と、一念に信じ、一昨年に引き続き昨年もお力添えをいただき、一〇〇〇人で大掃除を開催させていただきました。お陰様で、篠山市民の方々をはじめとし、東は愛知県や岐阜県、西は山口県の方々まで、卒業生を含め、多くのみな様にご参加いただき、その数以上の多くの笑顔、多くの感動をいただきました。

感謝

『ありがとう』

十一月に開催しました「一〇〇〇人で大掃除」に、大阪より五十六名もの参加をいただいた大阪高校野球部の皆さんに、十二月十日、お礼を申し上げにまいりました。

でも、そこは大阪高校とMランド。「せつかくなので掃除をしませんか？」というところで、学校周辺のゴミ拾いを、野球部の皆さんと共に、させていただきました。



小さなゴミも見逃さず！

篠山から降っていた雨も、掃除の途中ではあがり、掃除に没頭できました。都会はゴミが多いのでは？と思っ

れいな街を創っていることを、肌で感じる事ができました。胸が熱くなったのは掃除の後、野球部の方々に「ありがとう」ございました。掃除を続けていきますので、また大阪高校に来てくださいと言われたことでした。



終了後の感想発表

顧問の先生は、「今回の掃除は生徒たちにすべて任せました。トイレ掃除をしたいということでしたが、道具もなくゴミ拾いにしたようです」とおっしゃいました。それでは、次はトイレ掃除をしましょうということでは、おはなしをさせていただきました。出会えた奇跡に感謝し、離れていてもお互い「よくしていきこう」という気持ちで、同じやるなら小さいことにもこだわり、「知好楽」でやります。 中野 聡

篠山掃除に学ぶ会

第二日曜日は篠山掃除に学ぶ会の開催日です。この日はかねてから、「一度、篠山に行ってみよう」と、おっしゃっておられました。磯田様が朝早く、姫路からお越しになられました。

磯田様は一年ほど前より、『姫路掃除に学ぶ会』に、参加されておられ、掃除のきっかけは神戸新聞に連載の、(株)タニサケ松岡浩会長の「随想」をご覧になり、その教えに感銘され、すぐさま「タニサケ塾」に参加、掃除から多くを学ばれ、以来、掃除に取り組んでおられます。

開始時間には少し時間がありませんでしたので、「近隣のゴミ拾いをしましょう」ということで、学校周辺を歩いてまわりましたが、「あまりゴミがおちていませんねえ」と磯田さん。その後、トイレ掃除が始まり、一所懸命に便器を磨いておられました。笑顔の似合う、とても優しいお人柄の磯田さん、実は柔道七段の凄腕。姫路で一番大きな柔道教室を開いて

おられるとのこと。今年最後の『篠山掃除に学ぶ会』は、来年につながるいい会になりました。

終了後、篠山を奥様と散策されるので、お帰りになりました。

※タニサケ塾(月一回)

株式会社タニサケ・松岡浩会長が行なわれている真向法・トイレ掃除・洗車・気功功法・ストレッチ体操・朝礼・工場見学・講話などの研修会で、全国からたくさんの方々が加者を迎えておられます。

成長の人

毎朝多くのゲストが、早朝ボランティアに参加しています。その中のお一人、滋賀県からお越しの高室昌邦様。きっかけは緊張の中、運転し見事合格された修了検定終了後、担当の中野インストラクターの、「明日の朝、感謝の気持ちをごめて、応援してくれたい教習車の洗車をしてみては？」の一言でした。以後、毎日のようにボランティアに参加してくれました。その高室様の感想文をご紹介します。

自分は、洗車とトイレ掃除のボランティアに参加させていただきました。初めは洗車をしました。私の洗車のイメージは、いろいろと面倒なことだと思っていました。実際に洗車をやっていると、車の中がきれいになり、またボディを磨いて泡を水で落とし、たときに、すごく輝いていました。そして洗車が終わったときにすごい達成感があり、車を汚さないようにしようと思えるようになりました。

雨の降った日には、トイレ掃除をしました。最初はとても抵抗感がありました。しかし、やっているうちにその気持ちはなくなり、きれいにするのに一所懸命にやっています。そしてトイレ掃除をした人の気持ちになって、使うようになりまし

た、ボランティアをしていて、いろいろなことをインストラクターからお学びました。皆さんのおかげで、私は人として成長することができたと思います。ボランティア参加して、本当によかったです。ありがとうございました。 多くのゲストに、「気づき」を

体験できる教習所で、あり続けたいと思います。

『掃除に学ぶ会』のご案内

私たちと一緒にトイレを掃除しましょう。

1/12(日) 八上小学校 東トイレ (Am8:00~9:00)

1/26(日) 篠山中学校 屋外トイレ (Am8:00~9:00)

※参加していただける方は井本までご連絡ください。

編集後記

新年、あけましておめでとうございます。

また、いつもMランドニュースをご覧いただき、ありがとうございます。昨年もさまざまな出来事をご紹介させていただきましたが、皆様に助けられ、皆様に支えられ、皆様に育てられ、また、「継続していくこと」、「進化していくこと」の大切さを、実感させていただいた一年でした。今年も皆さまに元気を与えられるMランドニュースでありたいです。 (徹)